■令和6年4月3日 定例記者会見内容

1 日 時 令和6年4月3日(水)11:00~11:30

2 場 所 市役所本庁舎3階 第3委員会室

3 出席者 〇市長、副市長、総務部長、 企画部長、 地域創生部長、 市長公室長

〇酒田記者クラブ/各社

幹事社/荘内日報 · NHK

コミュニティ新聞

■市長コメント

マイナンバーカードの署名用電子証明書を再発行する際の手数料、本来無料のところを誤って徴収しておりました。すでに担当課の方から発表、そしてお詫びしておりますけれども、私の方からも改めてお詫びを申し上げたいと思います。本当に申し訳ございませんでした。

■市長発表

1 株式会社SIG酒田開発センターの開設について

市長/本市出身の石川住吉様が代表取締役を務めます、IT企業株式会社SIG様(本社 東京都千代田区)がこの度、令和6年4月1日から、事業拡大のため市内で2拠点目とな る酒田開発センターを開設されました。当初は5名からのスタートとなりますけれども、 今後のさらなる事業の拡大に伴い、順次増員されると伺っております。

本市に初めて立地していただいてから、わずか2年あまりで2拠点目が開設されるということを、大変うれしくありがたく思っているところです。

以上のことにつきましてはSIG様の方からもご発表があるものと思っておりますけれど、なぜ今日、私の方からこのような発表をさせていただくかと申しますと、今新年度ですが、すでに来春、次の春に向けての採用活動も始まっております。

酒田にご関心のある若い方、酒田市出身の方に、酒田ではIT企業の集積が進んでおりまして、働く場がありますよということをぜひPRしたいと思いまして、大変ありがたい事例だと思い、このように発表させていただきました。

もちろん、市内にはSIG様だけではなくて、昭和の時代から、株式会社目情ソリューションズ様、株式会社管理システム様、キューブワン情報株式会社様、酒田SAS様など、たくさんの企業様がいらっしゃいますし、また平成の時代にも、たくさんの企業、IT関係の方が、起こす業の起業の方もあったと思いますが、特に令和の時代になってからコロナ禍以降ですね、特に丸山前市長のリーダーシップもありまして、令和の時代、コロナで新しい働き方ができるというところで、IT関係の企業の集積が始まっております。

そのありがたい事例ということで、SIG様を今回紹介させていただいたということで、その他にも株式会社サイダス様、パイルシェイプスルパン株式会社様、PLCパートナーズ株式会社様など、全く最近の令和の時代に入ってからの企業様のお名前だけ申しましたが、それ以外にも、企業相手のIT系企業だけではなくて、例えば福祉系の会社でITに大変長けた会社もございますので、それをぜひ、市民の皆様にお伝えする機会になればと

思って、今日発表させていただきました。

SIG様は、代表取締役役の石川様が酒田市出身であるということ、そして地元の採用を積極的に行ってくださっているということ。そして特に新しい働き方ですね。東京で働いていらっしゃる酒田市出身の方もいらっしゃるとお聞きしておりまして、その方々が、ご家庭の事情などで酒田に戻りたいとなったときに、受け皿になれるようにというそういう意図もあったというふうにお聞きをしております。そういう新しい時代の働き方、そして、SIGさんは山形DXコミュニティへの参画、それからDX人材の育成を目的とした公益文科大学の授業への参画など、私たち酒田市役所の思いを酌んだ、取り組みにも積極的に参加していただいておりますので、とても嬉しいと思って本日発表させていただきました。どうぞよろしくお願いいたします。

■代表質問

1 北の若関の大相撲3月場所を終えて

記者/後援会長としての市長の所感と5月場所、今後への期待についてお聞かせください。 市長/3月場所は大変残念な結果ではありましたけれども、そんなに簡単ではないですよね。新入幕で優勝した力士もいらっしゃいましたけれども、そんなに簡単ではないだろうと思っておりまして、大変よく頑張ったのではないかなと思っております。アランマーレさんもそうですけれども、若い方が大変な状況の中で、頑張っています。しっかり精神力維持しながら、15番取り切ったというところにすごいな、頑張ってるなと私は思っています。大変なことがあっても頑張らなきゃいけないなと思ってる市民も多いんじゃないかなあと思っています。一緒にまた頑張っていければと思っております。

5 月場所は東京ですので、北の若を応援する会の会員の中には、会場での応援を予定していらっしゃる方もいると思います。

ぜひ北の若を応援する会で作ったオレンジ色の応援タオルを国技館で掲げていただいて、声援を送っていただいて、大きな力になっていただきたいと思っております。

フリー質問

1 台湾東部沖地震に関連し、酒田市と台湾の繋がりと今後の支援について

記者/今朝、台湾にて地震がありまして、沖縄には津波の警報が出ておりますが、台湾では建物被害も出ているとも。酒田市では台湾との繋がりがどういったものがあるかというところと、今後の支援で何か現時点で考えられることはありますか。

副市長/台湾との繋がりについては、まず観光面で酒田舞娘への台湾の観光客の方々の割合が多いことです。酒田舞娘さんが台湾の方と接する機会が多くなっておりますと。そういったことも踏まえながら、昨年、酒田舞娘さんと一緒に台中市に行って様々PRしてきているというのが、観光の側面。あとは先日も記事になりましたが、修学旅行生が台湾から来ています。それも台中市の中学生ですね。そういう繋がりから、誘客というか誘致をして、あとは産業面については、日本食を特に扱う扱い量が多いスーパーが台中市にあり

まして裕源(ゆうげん)という会社さんですけども、そことの繋がり、酒田の物産、例えば、冷凍の刺身ですとか、お米ですとか、裕源さんを通じて、台中市のスーパーに渡して、日本の酒田の食のPRもしていくと、そういう関係性があります。

記者/今の時点で現地の関係者に連絡は取っているか。

副市長/今の時点ではしておりません。

記者/何らかの支援についてはこれからの推移を見守っているということですね。

市長/そうですね。情報収集したいと思います。

2 酒田港外港地区に関する整備への国交省予算発表について

記者/先日国交省の方で、今年度予算の中に、酒田港の外港地区に関する整備に関する予算発表されました。事業についてのところで、市長の受け止めや期待感っていうところをお伺いしたいです。

市長/連絡をいただいておりまして、洋上風力発電設備の効率的な輸送建設を可能とするような、地耐力を強化するような港湾の整備ということで、令和6年度に予算がついたこと大変うれしく思っております。経済効果も大変期待しております。

記者/予算措置されたところも含めて、市としてどのように風力発電事業というところを 進めていきたいか、そのあたりいかがでしょうか。

市長/風力発電事業につきましては、まず市民の皆さんの理解を得るということで、今年度は、そもそも再生可能エネルギーがなぜ必要なのかですとか、そういう根本的なところから、市民の皆さんの理解が進むような講演会、セミナーのようなもの、そういったものを開いていきたいというふうに思っております。

記者/そうした講演会ですとかセミナーっていうところで、市民のご理解っていうところ に進めていった上で、そういった事業っていうのを今後進めていきたいと。そういった方 向性ということでしょうか。

市長/そういう方向性です。

記者/関連して住民説明会のスケジュール的なものが決まっていたりしますでしょうか。 市長/いえ、日程は決まっておりません。日程は決まっておりませんけれども、港の予算 もついておりますし、市民全体に対する再エネはなぜ必要かというような根本的なセミナ ーももちろん開いていきますし、また、洋上風力に関しての住民説明会のようなものも、 開催していきたいというふうに思っております。これはこまめに地区単位で、中学校区単 位ぐらいになると思いますけれども、そういったものは開いていきたいというふうに考え ております。

記者/まず地域単位での説明会っていうのはまだスケジュール的には決まってないけれど も、中学校単位になるかどうかわからないけれども、細かい範囲で実施すると。

市長/はい。セミナー・講演会の具体的なスケジュールというのもこれからですね。具体的な日程はまだ決まっておりませんが、これも早めに実施する。

3 市内中学校の生徒が自死した問題について

記者/酒田一中のいじめの件で、報告書とりまとめに向けた準備が、今行われていると思われるのですが、前回、まだ目途が立っていないということなんですけども、その後何か 進展はありますでしょうか。

市長/前回から特に進展はございません。

配布資料についての説明と紹介

市長公室長/本日配布資料ということで、令和6年の酒田まつりの件につきまして配付させていただいております。ディズニー関係につきましては、先般発表させていただいている通りで、酒田まつりの全体のスケジュールことにつきましても、ご覧の通りとなってございます。この件について、確認したいこと等あればお受けしたいと思います。

記者/式台の儀なのですが、これも大通りで実施するということでよろしいでしょうか。

地域創生部長/そういった、セレモニーも大通りで実施させていただきます

記者/いわゆる緑地公園、資料館あたりにステージを作ってという形ですか。

地域創生部長/そうです。地下道の出入口、その辺が中央の場所になろうかなと思っています。

記者/ディズニーリゾート側からはどんな出演者が出るなど決まっていたりするんですか。 地域創生部長/そこはまだいろいろオリエンタルランドとの協議が続いている最中でございますので、確定はしていないという状況になってございます。

記者/ディズニーパレードについて、確か今回で3回目になるのですけど、市で予算措置 とかされていますか。

地域創生部長/特別にディズニー向けの予算というのは、市では手配しておりません。